

# BLACK BOX®

## CASE STUDY 2025

株式会社テレビ朝日サービス

# 現場の省スペース化と操作性向上を両立 複数システムを同時操作・監視できる IP-KVMによる遠隔操作ソリューション

機器を別フロアに集約しながら  
速報操作の即応性を維持  
省スペース化と現場効率を実現

1画面内に複数システムを表示し  
同時操作と視認性を両立  
業務の作業性を向上

障害時も操作を継続できる構成で  
システム全体の  
安定稼働を確保

### 導入会社

株式会社テレビ朝日サービス  
放送設備等販売、リース・レンタル、システム事業、  
コンテンツ事業、広告事業、保険代理業、CM業務等

### エンドユーザー

株式会社テレビ朝日  
民放テレビ局



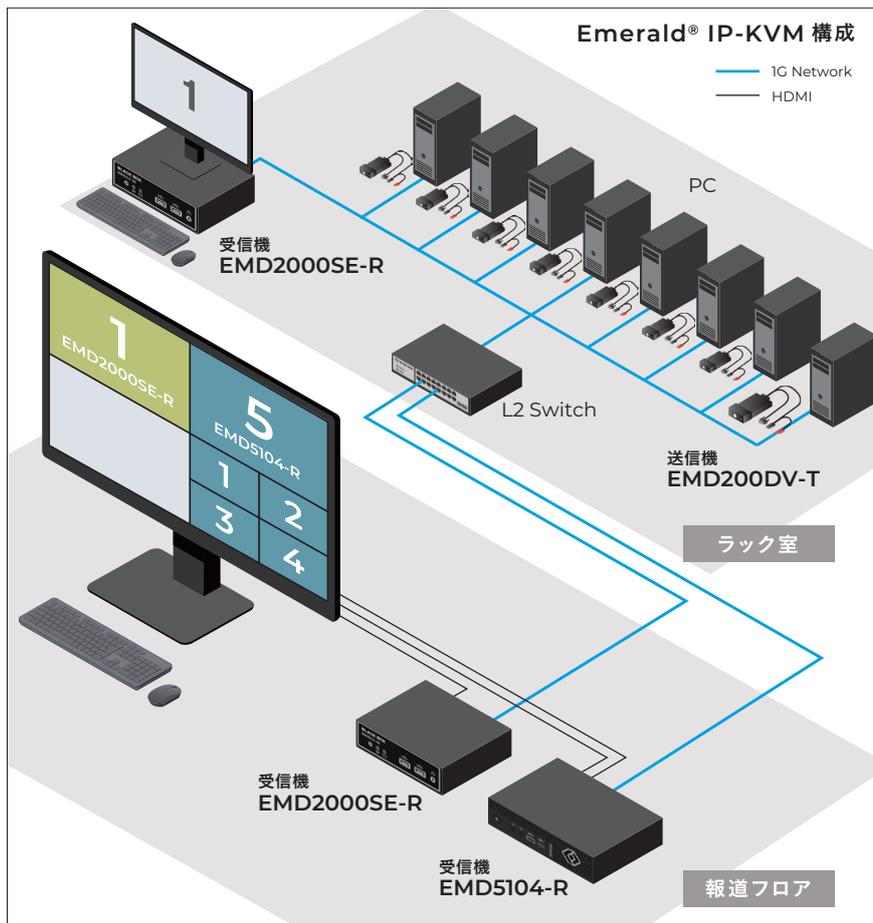
▲ 報道フロアの操作卓。1モニター内に複数のシステム画面を表示し、同時操作を実現。省スペース化と視認性の向上を両立している。

### 操作卓の省スペース化と 作業効率向上

株式会社テレビ朝日サービスでは、複数の速報システムを運用している。従来は報道フロア内の操作卓に、複数のシステム専用のPCや、キーボード、マウスが並び、機器と配線が机上にあふれていた。現場からは、機器配置、機器動作環境の見直しの声上がり、予備系の複数システムを効率的に表示・操作できるシステム構成を検討した。

現場の要件を満たす機種を選定が行われ、事前の実機テストを経て、遠隔操作とマルチビュー表示を両立でき、今後の運用にも柔軟に対応できる、ブラックボックスのIP-KVMソリューション「Emerald®」シリーズが今回採用された。

今回の導入により、システム機器を別フロアのラック室に移設し、操作卓には最低限のモニターと操作機器のみを残す構成に変更。さらに、マルチビュー機能により、複数システムを限られた画面内で同時表示・操作が可能となった。



▲ラック室に設置された受信機「EMD2000SE-R」。主に保守作業や設定変更時などのローカル操作に使用される。



▲報道フロアの操作卓下にあるラック内に設置された、受信機「EMD5104-R」と「EMD2000SE-R」。マルチビュー表示と個別切替操作の双方に対応する運用構成の一部。

## 分割表示と冗長構成への対応 Emerald® シリーズの導入理由と今後の展開

採用されたのは、Zero Uタイプの送信機がソースPC台数分と受信機側はマルチビュー表示に対応した「Emerald® DESKVUE」、及び1画面切替タイプの「Emerald® SE」を組み合わせた構成である。報道フロアからラック室のPCを遠隔操作しつつ、1台のモニター内に最大5つのシステム画面を同時表示できる環境が構築された。

導入にあたっては、

- ①分割表示中もリアルタイムで更新されること
- ②高画質であること
- ③自由な画面構成が可能であること
- ④機器障害時も運用を継続できる冗長性があること

などの明確な要望があった。事前実機テストの結果、DESKVUEはこれらを満たしていることを確認。遅延や画質の劣化はなく、分割画面ごとに出る接続先名などのタイトルバーが非表示にでき、画面ごとの自由な選択や操作もDESKVUEであれば可能であることも大きなポイントであった。さらに、故障時はEmerald® SEに切り替えて継続運用が可能なのも高く評価された。

今回の構成は他部署にも応用可能とされ、類似課題への展開や、Emerald®シリーズの追加導入を視野に入れた検討も始まっている。

### ●導入機器



**EMD5104-R**  
IP-KVM  
マルチビュー対応受信機



**EMD2000SE-R**  
IP-KVM 受信機



**EMD200DV-T**  
IP-KVM 送信機

IP-KVM Emerald 特設サイト  
[www.ipkvm.jp](http://www.ipkvm.jp)